

vol. 155

発行日 令和5年2月1日
発行 社会福祉法人 天竜厚生会
発行者 山本 たつ子
編集 総務部 総務課

あかまつ



Focus 1

仕事の魅力紹介

支えあい～
ケアワーカーの仕事の魅力
(P.6)



Focus 2

魅力あふれる デイサービス センター第2弾

(P.3～5)



社会福祉法人

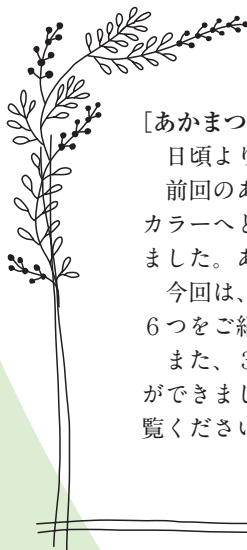
天竜厚生会



Akamatsu
vol. 155
2023.2.1

Contents

目次	1
新年のご挨拶	2
魅力あふれる デイサービスセンター 第2弾	3
仕事の魅力紹介	6
施設の活動紹介	7
「第52回 施設合同作品展」が開催されました。	9
3年ぶり！オークラアクトシティホテル浜松で内定式を開催！	11
JICA草の根技術協力事業(草の根パートナー型) カンボジア王国幼児教育カリキュラムに基づく 「遊びや環境を通した学び」実践のための基盤構築事業への協力について 訪日研修の実施報告 その1	12
あゆみの箱様より、冷蔵庫をいただきました！！	12
主幹・副主任会議について ～自分の園自慢～	13
令和4年度「20歳を祝う会」を開催しました！	14
訪問介護・訪問入浴職員全体研修	14
台風15号被災地支援・ボランティアについて	15
苦情受付の公表について	16
善意の皆さま(8月～11月末)	17
第47回 厚生会まつり開催！！ / 第12回実践発表会動画公開予定！！	裏表紙



【あかまつ編集後記】

日頃より機関誌あかまつをご愛読いただきありがとうございます。

前回のあかまつ154号より、皆様にもっと楽しんで見ていただけるよう、全ページをカラーへと変更致しました。大変好評で、皆様から温かいお言葉をたくさんいただきました。ありがとうございました。

今回は、前回から連載している当法人の魅力溢れるデイサービスセンターの残りの6つをご紹介します(※P3～5)。

また、3年ぶりに天竜厚生会の一大イベントである【厚生会まつり】を開催することができました。裏表紙に当日の様子をたくさんご紹介していますので、是非ご覧ください。

広報委員





新年のご挨拶

理事長

山本 たつ子

昨年、怒涛の嵐のようなコロナ旋風にこれまでに以上振り回された一年でした。入所施設では陽性者が続出し、クラスターとなっていきました。今回のオミクロン株は、以前にも増して感染力が凄まじいものでした。ご利用者のみならず、ケアの担い手である職員までが陽性となり、応援に入った職員にも感染しました。この現象は、一昨年にはあまり見られませんでした。重症化のご利用者は少なかったのですが、それでも要入院者が出ますと、入院先調整に時間がかかりました。併せてご家族の皆様にはご迷惑やご心配をお掛けする結果となり、本当に苦慮する一年でした。ご迷惑をお掛けしたご家族には本当に申し訳なく、お詫び申し上げます。

ただ、新型コロナウイルス感染症に恐れを抱いてばかりいてはならない、新型コロナウイルス感染症とどう向き合っていくか、多くの議論を重ねて、少しずつイベント等を開催してきました。何よりもご利用者の期待の大きかった厚生会まつりを開催できたことは、とてもよかったと思います。ご家族や地域の人々の参加はご遠慮いただく等、感染防止対応に配慮した開催ではありましたが、天候もよく、ご利用者には楽しんでもらえたと実感しております。今年こそは、ご家族や地域の人々が参加できる厚生会まつりを開催できたらと願っております。

天竜厚生会理事長杯サッカー大会も11月3日、午前と午後の2部に分けて開催致しました。サッカー大会は保護者の皆さまの参加を得ての開催となり、子どもたちの活躍に声援を送る保護者の姿を久しぶりに見ることができ、開催にこぎつけられて本当によかったと思いました。4月に新たに事業開始した子育てセンターにじいろからの参加も加え、35チーム、総勢532園児が参加となりました。天竜厚生会子ども園・保育園でのサッカーの取り組みは、遡ること30年以上前、第3代内山理事長が保育園でのサッカーを進めたことがきっかけです。まだJリーグがスタートする前でしたが、静岡県民のサッカー熱は高まり、平成3年から天竜厚生会理事長杯サッ

カー大会へと発展してきました。これまで厚生会まつり時に合わせて実施してきましたが、コロナ禍により大勢が集っての開催は回避しました。しかしながら、今回は保護者の観戦もあって、熱戦が繰り広げられました。

こうした年中行事は、これまで当たり前のようには繰り返して実施されてきました。ときにマンネリ化と言われる中で、検討しながらも続けてきましたが、続けることの大切さも感じております。第3代内山理事長の胸像が研修センター裏にありますが、そこに「脚下照顧」という言葉が刻まれております。コロナ禍に苦慮している私たちに向けて、内山理事長がまず足元を見よと教えてくれている気がします。出来ることからコツコツと積み上げてきた天竜厚生会にとって「脚下照顧」の教えは、とても貴重な教えです。

福祉制度が充実すればするほど、その隙間から漏れている人々がいることも、コロナ禍で実感させられます。生活苦に陥っている人々や就労困難な状況に陥っている人、社会が安定していれば考えられない実情は、福祉制度そのものがこうした困難に対応できる余地がなかったのではないかと考えてしまいます。この時代にあって社会福祉法人はどうすべきか、制度内の事業すらも制度を理由にその門戸を閉じていないだろうか。改めて法人の基本理念である「九十九匹はみな帰りたれど、まだ帰らぬ一匹の行方訪ねん」の実践を推進したいと考えます。門を叩いてくれる人々にだけ開くのではなく、辿り着けない人々をも探し求めることこそ、天竜厚生会の使命であると考えます。

地域に支えられ、70年を過ぎる法人ですが、まだまだやらねばならぬこと、取り残していることがあるように思います。これからも職員一丸となり頑張っていきたいと思っております。新しい年が明るい年でありますように。本年も宜しく願い申し上げます。

魅力あふれる

デイサービスセンター

第2弾



当法人には
通所介護事業所が9か所、
通所リハビリテーション事業所が
1か所あります。
事業所の特色を活かしながら、
日々ご利用者の笑顔や満足のため
支援にあたっています!!

さいわい デイ・ケアセンター



所長
廣井 克行



【男性に大人気!バイク】
体全体を使うことで運動した感が大きいことが一番の特徴です。時間と負荷を設定し使用することで歩数を表示できます。『10分間で1,000歩』という強者のご利用者も!!



【季節を感じる玄関】
季節を感じていただけるよう工夫を凝らしています!たくさんの方々足を止め、楽しまれています!!



【大人気!レッドコード】
天井から吊るされている赤い紐を用いながら、足踏み→もも上げ→肩回しの順に体を動かすことで柔軟性やバランス機能向上が望めます。



【作品作り】
毎月行事担当者が考案し、ご利用者と一緒に制作しています。ご利用者やご家族にも好評です。



しんぱらの家 デイサービスセンター



所長
鈴木 誠



【認知症対応型デイサービス】
一般型よりも手厚い人員配置により、ご利用者個々に対して、充実した支援を提供しています。



【機能訓練】
作業療法士が一人ひとりに合った個別機能訓練を実施し、大変好評を得ています!!



【活動風景】
個々の機能向上を目的とし、個人の好きなことや、チャレンジ精神を向上させるような活動を提供しています。どれも手作りでラインナップも充実しています!!「今日は何をしようかなあ〜」



【作品展製作】
ご利用者と共同で制作した作品を施設合同作品展に出展!過去に2回、理事長賞に選ばれました。毎年、ご利用者も楽しみにしています!!

龍山 デイサービスセンター



係長
ケアワーカー
坂東 豊実



【小学生との交流】
横山小学校の生徒との交流
小学生との交流もご利用者の楽しみ
の1つです!



【地域を巡る旅】
プロジェクターとスクリーンを使用し、龍山・水窪など北遠地区の観光プロモーションを視聴しました。地元の商店や風景が流れると、「家の近所だ!」「そうそう、昔はこうだったよ!」などご利用者や職員皆で盛り上がります。



【自然豊かな環境】
自然豊かな場所で、地域に根差したデイサービスセンターです。天気の良い日には建物の屋上で外気浴を行っています。毎年3月の中旬から下旬にかけてデイサービスセンターがある「やすらぎ」下の県道と国道沿いの「千本桜」が満開になります。



【買い物支援】
普段外出して買い物に行く機会がないご利用者にも買い物を楽しんでもらおうと、フロアで移動販売を定期的を実施しています。皆さん買い過ぎにご注意です!!

登呂の家 デイサービスセンター



所長
小田木 伸太郎



【まだまだこれから】
人生の晩年にも出会いはあります。小学校の同級生、近隣の方だけでなく、デイサービスセンターを通して新たに友人となり何気ない会話も楽しめる!そんな場でありたいです。まだまだ人生これからです!!



【新たな経験】
やりたいことや食べたいものを実現し、存分に味わってもらえるよう工夫して提供しています!!



【地域密着型サービス】
生活機能の維持・向上や社会的孤立感の解消の役割のもと、「ご利用者にとことん寄り添うこと」をモットーに支援しています。出来ること、好きなことを見つけ、自宅ではできないこと・やらないことをデイサービスセンターで発揮していただいています。



天竜厚生会浜松 デイサービスセンター



ソーシャルワーカー
白井 律臣
ケアワーカー
松尾 智恵



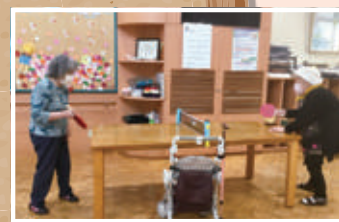
【リハビリマシン】
充実したマシンで、自分に適した負荷をかけて機能訓練が行えます。みんなで楽しくLet'sリハビリ!!



【ベルマークの仕分け作業】
マーク毎に仕分けしていく作業なので、「手先の細かい作業への参加はちょっとなあ」といった方でも気軽に参加しています。仕分けられたものは形を変え、市内の小学校などに物品として寄付される予定です。



【玄関フロア】
日常の1コマを撮影し、玄関フロアに掲示しています。50枚ほどある写真の中に、必ず1枚は自分が写っている写真が見つかるように掲示しています。散歩の帰りや活動の合間などに、「自分の写真はどこにあるかな?」と写真探しを楽しまれています!!



【趣味活動】
ご利用者の「やれたらいいな」の声から実現しています。ジェンガ、卓球、麻雀などハラハラ・ドキドキ真剣勝負です!!

宮脇 デイサービスセンター



ソーシャルワーカー
杉山 雄太



【花壇】
庭にはご利用者に植えていただいた花もあり、職員が手入れに協力しています。天気が良く、過ごしやすい気候の時は、外に出てひと時を過ごしています。



【個別機能訓練】
個別機能訓練に取り組んでいます。ご利用者それぞれの状態にあったプランを作成し、楽しく取り組んでいます。



【670歩体操】
670歩歩くことができる体操を行っています。体操を行うごとにスタンプを押し、当初は掛川のバス停から始まり、現在は日本一周の体操旅をしています。スタンプが貯まり、「どこまで行けたかな〜」という声もあり、体操を楽しんでいます!!
めざせ日本全国制覇!!



仕事の魅力 紹介

支えあい～ケアワーカーの 仕事の魅力



あかいし学園
ケアワーカー
小野田 脩史

あかいし学園に勤めて7年になります。

施設では主に、個別支援計画などを基に支援方法を模索したり、最近では強度行動障害の支援にも力を入れ、ご利用者一人ひとりの生活がより良いものとなるよう職員全体で支援しています。

その中で、少しずつご利用者の反応が変化していき、笑顔で過ごしていただける時間が増えたり、施設の中でもその人らしく生活していただけることを実感できる瞬間が、この仕事の魅力であると感じます。

ご利用者はもちろん職員同士の助け合いの精神で日々の支援を行っており、その中で「ありがとう」や「助かりました」といった言葉が各職員から自然と発せられる環境が、もう一つの魅力であると感じています。

特に本年度は、施設で新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ」という。)が発生し、ご利用者・職員ともに多数感染し苦しい状況が発生しました。職員と応援に

来て下さった職員が、綿密に情報交換をしながらご利用者の回復と職員の復帰、そして収束を目指し繋いだあの期間は、まさに『助け合い』があったからこそ乗り越えられたのだと思います。

ご利用者の生活を支える仕事は、決して一人で出来るものではなく、各施設に所属する多くの職員で情報を交換し、最適な支援方法を提供していくことが大切であり、チームとしての連帯感を味わえることも大きな魅力です。



▲食事介助の様子



▲いただきます

笑顔をつくる調理員の 仕事の魅力



子育てセンターみゅうのおか
調理員
外山 智美

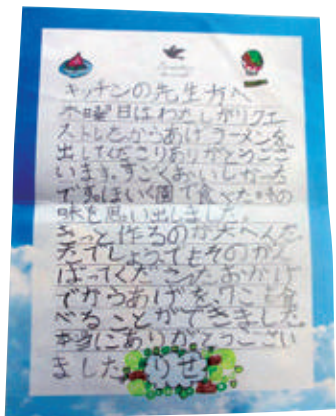
保育施設の調理員の仕事は単に調理をすることだけではなく、食育活動や発注業務、アレルギー対応、講座の開催など多岐に渡ります。毎年の食育計画を立てたり、毎月の行事食やお誕生日の献立を考えたり、保育教諭や看護師と連携して子ども達や職員が楽しくなるような行事作りが出来ることも魅力の一つです。

その中でこの仕事の一番の魅力は、食事をする子ども達や職員の感想がすぐに聞けたり、時には応援のメッセージをいただいたりすることだと思います。「いつもごはん作ってくれてありがとう。」「今日のおやつおいしかった！また作ってね。」などといった声を聞くと活力が湧いてきます。



▲防災訓練の炊き出しの様子

先日、自園に併設する児童クラブの児童から感謝の手紙を頂いた時はとても嬉しく、調理員というのは人の笑顔をつくる幸せな仕事だなと感じました。今後も園児や職員の元気や健康に繋がる食事作りをしていきたいと思っています。



▲児童クラブの子どもからもらった手紙

みんな元気、みんなの笑顔

施設の

子育てセンターにじろ

職員家族のお仕事見学会

6月6日～11日は子育てセンターにじろの『ファミリーウィーク』。

“自分を大事に思ってくれる家族に対して「ありがとう」の気持ちをもつ”ことをねらいとし、11日には職員が自身の家族に園内を案内する『職員家族のお仕事見学会』を開催しました。16組、総勢60名が来園し、自園を誇らしげに紹介する職員の姿や、他職員家族と話をしたり、職員のお子さんが「この部屋いいね」とお気に入りの場所を見つけたりする姿が見られました。また家族という安心感から職員の普段見られないような表情がたくさん見られ、有意義な時間となりました。会を通して、職員は家族に感謝の気持ちを伝え、ご家族が園を知っていただく良い機会になったのではないかと思います。

ここがゴムチップの
中庭なんだよ。



ここは
事務所だよ。



広くて
いいな。



きれいな園だね。
明るくていいね。

子育てセンターとみがおか

さつま芋ほり

できた～！
おいも おいも
おいも!!



美味しいおいも
いつもありがとう
ございます!!



子育てセンターとみがおかは17年前、旧豊田町（豊田東保育所）から天竜厚生会に運営が変わりました。しかし、ずっと変わらず子ども達の為に支援し続けてくれる方がいらっしゃいます。それは、豊田東保育所時代の元所長さんで、毎年、子ども達に芋ほりの経験をさせてくださいます。当日、子ども達は、畑で土の感触を味わい、素手で少しずつ土をかき分けながら大きく生長したさつま芋を掘ろうと張り切っていました。ひとつの株にいくつもさつま芋がついていたり、髭のような根がたくさんついていたりと発見の連続だったようです。

子ども達に貴重な体験をさせていただけることに大変感謝しています。

活動紹介

体験して発見の毎日！

天竜厚生会城北の家

敬老会

9月17日に敬老会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小しての開催となりましたが、お祝い対象のご利用者ご家族をお招きすることができました。

式典に参加されたご利用者は久しぶりのご家族との時間をとても楽しんでおられました。一緒に写真を撮られる皆様の嬉しそうなお姿が印象的でした。

また、併設する天竜厚生会りいお(放課後等デイサービス)の子どもたちとの交流もあり、歌の披露や手作りのプレゼントを渡されると感動して涙されるご利用者もいらっしゃいました。

施設全体にお祝いムードが溢れており、沢山の笑顔が見られる充実した敬老会となりました。

職員と
ツーショット♪



沢山の
素敵な笑顔が
みられました!!



美浜

納涼祭

ドレス似合うかな?
綿あめおいしいよ!



太鼓は
まかせて!



8月23日に納涼祭を開催しました。

ボランティア職員に用意していただいたドレスを着用し、とても嬉しそうなお利用者の表情を見ることができました。盆踊り、ゲーム、カラオケ、綿あめ、昼食は外部に注文し、提供を行いました。普段食べることのできない綿あめを夢中で食べられる方が多くいらっしゃいました。「綿あめ美味しかったよ」「ドレス初めて着た」「また来年もある?」とご利用者から嬉しいお言葉をいただきました。終始笑顔溢れる納涼祭となりました。

「第52回施設合同作品展」

今年度も感染予防策を講じ、ご利用者・職員のみで観覧していただくことで作品展を開催しました。障がい者関係施設、高齢者関係施設、子育て関係施設の作品、計260点ほどが会場をいろどりしました。理事長賞他の受賞作品と、観覧の様子をご紹介します。また、今年度はご利用者からの要望にお応えし、作品の販売が再開となり、手編み製品や工夫を凝らした作品の出品が多数ありました。



理事長賞

「秋桜・さつまいも・柿」「朝顔」

天竜厚生会城北の家ご利用者

【作者名】宮本幸子、河野シゲ子、西田美智子、峰野波子、山本和加子



常務理事賞

「こころもからだもげんきいっぱい」

子育て関係施設

受賞者のコメント

とても嬉しいです。作ることが好きなので
楽しみながら作ることができました。
ありがとうございました。

天竜厚生会城北の家
宮本幸子様

作品展見学の様子



が開催されました。



常務理事賞

「笠地蔵とゆかいな森の仲間達」
宮脇デイサービスセンターご利用者



常務理事賞

「夏の思い出」
浜名ご利用者一同



常務理事賞

「元気いっぱい笑顔いっぱいしずおか藤枝」
天竜厚生会アクシア藤枝通所ご利用者

売品販売の様子



受賞者のコメント

「やった！嬉しい！」
天竜厚生会アクシア藤枝
通所ご利用者



一部の展示作品は、ホームページで公開しております。
こちらからご覧いただけます。▶▶▶



お問い合わせ先

福祉サービス課

☎053-583-1123

3年ぶり！ オークラアクトシティホテル浜松で 内定式を開催！

総務課
主任 事務員

櫻田 直希



皆さん、ご自分の内定式を覚えていますか？多くの方が、新卒採用時に「内定式」に招待され、参加されたのではないのでしょうか。内定式は、会社が内々定を出している人に対して、正式な内定通知を渡すことを目的に開催する式典のことです。天竜厚生会では、「オークラアクトシティホテル浜松」をはじめとして、非日常の空間のなかで「内定通知書の交付」と「職員と内定者」の交流を深めることを慣例としてきました。私自身も、十数年前に内定式をオークラアクトシティホテル浜松の最上階で開催していただき、同期や当時の役員の方々とお酒を酌み交わしながら交流を深めたことを今も鮮明に記憶しています。

今回は、「3年ぶり」に当該会場へ設定した内定式でしたが、今年度においても新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という）対策は必須であり、ギリギリまで社会情勢の動向や感染対策の協議を重ね、最終的に当該会場での開催に決定したのは、開催1か月前の9

月上旬でした。

そして、今回の内定式のコンセプトは「コンパクトながらも人とのつながりを形成する」とし、コロナ対策では「開催時間と食事は必要最小限」、「ノンアルコール」。一方で非日常の空間を通じ、入社意欲を高めてもらうとともに、内定者同士や職員との交流から「人とのつながり」を形成する機会を大切にしました。コロナの時代、オンラインが主流となり、便利になった反面、人と人とのつながりが希薄となっていることも否めないかと思いますが、内定者の皆さんは、この内定式をきっかけに同期や今回つながりをもった職員との関りを大切にいただけたらと思います。

採用担当として、この内定式が内定者の皆さんの記憶に残るとともに入社後の心の支えにもなれば大変嬉しく思います。内定者の皆さんを引き続き、入社前・入社後に関わらずサポートしていきますので、何でもお気軽にご相談してほしいと思います。



▲内定通知書交付



▲集合写真

佛教大学

大村 留睦

総合職内定

職員の方、同期との仲も深められ、とてもいい時間を過ごすことができました。今回の内定式を通じて、入社へのモチベーションを高めることができました。

横浜リゾート＆スポーツ専門学校

栞原 希愛

保育職内定

職員の皆様、そして同期とともに交流できたこと、とても嬉しく思います。

今日をきっかけにして、同期とコミュニケーションをとりながら、3月の入社に向けて、より励んでいこうと強く思うことができました。今回はありがとうございました。

JICA草の根技術協力事業(草の根パートナー型) カンボジア王国幼児教育カリキュラムに基づく 「遊びや環境を通した学び」実践のための基盤構築事業への協力について 訪日研修の実施報告 その1

当法人は平成28年1月から、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会の協力団体として、カンボジア王国における質の高い幼児教育・保育の普及を目指すためのプログラムに参画しており、協力体制をとって今年で8年目となります。

令和2年9月より取り組んでいる*幼児教育カリキュラムに基づく「遊びや環境を通した学び」実践のための基盤構築事業の一環として、令和4年12月9日～12月16日の間カンボジア王国のタスクチームメンバー等15名が来日されました。タスクチームメンバーはカンボジア王国教育青年スポーツ省(日本の文部科学省)職員、幼稚園教員養成校職員、バットアン州教育青年スポーツ局(日本の県教育委員会)職員、幼稚園教諭等で構成されています。

本研修は、タスクチームメンバーが日本の保育現場を実際に見ることで、①物的環境だけではなく、人的環境や自然・社会事象を考慮した環境、②遊びをベースにした教育・保育活動、③子どもの姿を捉えた遊びを実践するために必要な視点(子ども理解)の3点につ

いて理解を深めることをねらいとしました。また、本研修での知見を基に現在作成中のガイドブックをカンボジア王国全土に普及し、カンボジアの教諭が日常の教育・保育活動の中で遊びや環境を通した学びを実践出来るようになることを最終的な目的としました。

今回の訪日研修は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事前に計画していた研修内容を大幅に変更する事態となりましたが、オンライン技術を駆使して結果的には効果的な研修が行えたと捉えています。本研修のスケジュールは下記のとおりです。

研修の具体的な内容やタスクチームメンバーの様子については次号にて報告させていただきますので、楽しみにお待ちください。

※本事業の目的、具体的な事業内容については「あかまつvol.147」に掲載

訪日研修スケジュール

日	曜日	研修内容	見学・実習施設
12/9	金	日本着 天竜厚生会研修センターにて宿泊	
12/10	土	見学・講義・実習説明	すずかけこ 保育園
12/11	日	休日	
12/12	月	施設実習 (オンラインにて視聴)	子育てセンター やまびこ
12/13	火	施設実習 (オンラインにて視聴) 浜松市長表敬訪問	子育てセンター やまびこ
12/14	水	施設実習 (オンラインにて視聴・園庭での活動見学)	子育てセンター やまびこ
12/15	木	施設実習 (オンラインにて視聴)	子育てセンター しばもと
12/16	金	訪日研修報告会→帰国	



▲園での実践活動をオンラインで視聴しました(天竜厚生会研修センター)

あゆみの箱様より、冷蔵庫をいただきました!!

令和4年12月15日、タニザワフーズ株式会社の外郭団体「一般社団法人あゆみの箱」より、当法人グループホームへの寄贈品贈呈式が執り行われました。一般社団法人あゆみの箱理事角谷智成様より活動内容をご説明いただいた後、谷澤昌代様よりグループホームご利用者に目録が手渡され、後日12月27日グループホームかぜぶねに冷蔵庫を寄贈していただきました。

いただいた冷蔵庫はご利用者が集うリビングに設置して、今後有効に活用していきます。
ありがとうございました。



▲目録を受け取りました!



▲大きな冷蔵庫が届きました!

主幹・副主任会議について ～自分の園自慢～

子育て支援課
事務員

太田 真央



当法人には、幼保連携型認定こども園が15施設、保育園が2施設あります。それぞれの園には保育の現場をまとめる役割の主幹保育教諭や副主任が配置されており、年3回主幹・副主任会議を実施しています。主幹保育教諭・副主任は、現場で働く保育教諭・保育士の指導や、実習生やボランティアなど外部の方への園の説明や対応等を行っています。主幹・副主任会議では、発足当初の令和1年度は主幹の位置づけ・役割の明確化、定着を目的に、令和2年度からは主幹の役割や業

務について理解や学びを深め、各園で活かすことができるよう会議を行ってきました。主幹保育教諭・副主任の役割の1つとして、外部の方へ自園を説明する機会があることから、今年度の会議ではより実践的な部分の理解として、改めて自園の魅力を知り、発信していくための『自分の園自慢』といった取り組みを行いました。日々の保育を振り返り、自分の園の良い所・自慢できる所を探し、四つ切画用紙に写真を使いながらまとめ、会議の中で発表を行いました。

自分の園自慢



発表の様子



自分の園自慢を作成し発表することで、それぞれの主幹保育教諭が自分の園の良い所や保育の中で大切にしている部分の再発見をする機会になりました。また見せ合うことで、自分の園だけでなく他の園のことも

より詳しく知ることができる機会にもなり、とても有意義な時間となりました。

今後も有意義な会議を行っていきたいとおもいます。

令和4年度「20歳を祝う会」を開催しました！

総務課
事務員

伊藤 慎悟



令和5年1月13日、「20歳を祝う会」を実施しました。本年度より成人年齢が18歳に引き下げられましたが、20歳という年齢は、民法改正後においても飲酒や喫煙など多くの規制の区切りの年齢であり、重要な節目の年であるため20歳を対象に「成人を祝う会」の名称を変更して「20歳を祝う会」を開催しました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策で山本理

事長と藤井常務理事が各施設へ訪問する形式での開催となりました。

当日は、施設の職員とご利用者が参加して20歳を迎える方をお祝いした施設もあり、和やかな雰囲気でお祝いをすることが出来ました。

皆様の今後の更なるご活躍を期待しております。



「20歳を祝う会」の様子はホームページのお知らせにも掲載しています。是非ご覧ください。



訪問介護・訪問入浴職員全体研修

天竜厚生会訪問入浴センター
主任 ケアワーカー

牧内 友子



9月4日(日)、訪問介護・訪問入浴事業所を対象に、接遇マナー研修が開催されました。講師に株式会社話し方教育センターの上野純子氏をお迎えし、接遇者としての心得や接遇基盤となる「話す・聞く」等の講義を受けました。その後、グループ演習を行い、訪問先でのご利用者やご家族とのコミュニケーションの取り方について考えることができました。

普段、訪問先での接遇に意識はしているものの、介助に一生懸命になると何気なく会話していることがあ

り、ご利用者やご家族の受け止め方が気になることがあります。

訪問先のご利用者やご家族に、天竜厚生会訪問入浴センターを選んでよかったと喜んでいただけるような接遇が提供できるように、講義の内容を今後のサービスに活かしていきたいです。より良いコミュニケーションをとることにより、信頼関係を気付く礎にしたいと思います。



▲参加者の演習の様子



▲上野氏の講義の様子

台風15号被災地支援・ボランティアについて

今回の台風15号による記録的な大雨は、静岡県下に甚大な被害をもたらしました。様々な場所で家屋の床上・床下浸水の他、土砂崩れや橋の崩落等多くの被害が発生しました。

静岡市清水区では約6万戸が断水となり、今回の訪問先である「百花園宮前ロッジ」さんもそれによりご利用者の生活に支障をきたしている状態でした。

全国身体障害者施設協議会東海北陸ブロック会長より被害状況と飲料水不足との連絡を受け、当法人の身体障がい者関係施設3施設で各120L、合計360Lの保存用飲料水を提供することとしました。

9月27日に車両に飲料水を積み込んで出発。清水区内の道路は冠水したことが分かるくらい一面茶色くなり、橋の欄干には枝木や流木が引っかかっている光景が見られ、改めて今回の台風による被害の大きさを感じました。

目的地に到着し、飲料水を渡しつつ施設の状況を確認したところ、「断水により水の使用ができなくなり、生活用水は供給されるようになったが、飲料水が不足していた。今回の飲料水提供の申し出は大変ありがた

浜北学苑(障害者支援施設)
施設長

小杉 祐介



い。」と感謝の言葉をいただき、力になることができて良かったと感じました。

今回の被災地支援にあたり、要望に対して迅速な対応ができたことは大変良かったと思いますし、当法人の理念「九十九匹はみな帰りたい だまだ帰らぬ一匹の行方訪ねん」に通ずるものだと思います。

また、非常時の備えについて、改めて考えさせられる機会となりました。罹災した皆様には紙面をお借りしてお見舞い申し上げますと共に一日でも早く日常生活に戻られますようお祈りいたします。



▲先方の職員さんに渡してきました

日ごろから「地域貢献活動で何かできないか」と考えていましたが、地元である浜松市社会福祉協議会天竜地区センターで、台風15号の災害ボランティアを募集すると聞き、「これなら清風寮が地域のお役に立てるのではないか」と考え、参加することにしました。

当初、浜松市天竜区中心での活動でしたが、磐田市社会福祉協議会とも連絡を取り、被害の大きかった野部地区、敷地地区などにも活動エリアを広げ、9月26日から10月21日まで、うち12日間にわたりご利用者8名、職員13名が、浸水した家屋や敷地内の泥のかき出し、家財の搬出などの作業に従事しました。

ご利用者からの声

- 被災した家の大変さを見たら、助けてあげたいと思った。
- 被災した人たちから「ありがとう」と言われて嬉しかった。
- 泥の運搬は疲れたけど、参加してよかった。

参加した職員の声(佐山竜一 ソーシャルワーカー)

災害ボランティアを清風寮職員として参加させてもらいました。短い時間でしたが、ボランティアを通して、地域との結びつきの大切さや、福祉従事者として求められる役割を改めて考えさせられる機会でした。

清風寮(救護施設)
施設長

鈴木 啓晋



参加されたご利用者は、被災した現場に実際に入り、その大変さを肌で感じ、気を引き締めて活動していました。

今回の災害支援ボランティアに清風寮が参加させていただいたことは、ご利用者にとっても職員にとっても、大変貴重な経験になったと思います。



▲浜松市天竜区二俣協働センター(浜松市社会福祉協議会ボランティア駐車場にて)



▲磐田市役所豊岡支所(磐田市社会福祉協議会ボランティアセンター受付にて)

苦情受付の公表について(定期報告)

原則として、令和4年8月～令和4年11月までに、当法人にいただいた苦情等は次のとおりです。
貴重なご意見ありがとうございました。

- ◆受付件数 ○法人全体：88件（うち公表可52件）
- ◆主なサービス種別ごとの受付代表事例

障がい者関係事業 15件（うち公表可10件）

施設名	浜名	是正日	令和4年9月21日
件名	帰宅時の荷物に夕食後分の薬が残っていた件について		
ご意見/ご要望の内容	ショートステイから帰宅後に荷物を確認したところ、袋の中に夕食後分の薬が2種類残っていた。お薬の説明書も入れてあったため薬の種類は確認できると思うが、なぜ内服していないのか教えてもらいたい。		
対応内容	ご家族に薬の飲ませ忘れがあったことについて謝罪しました。原因として持参いただいた薬の確認をきちんとしていなかったことや内服薬の説明書を確認していなかったことが原因です。また、最新の内服薬の説明書をコピーせず返却したことも原因の一つです。是正としてご家族が持参された内服薬の説明書が最新のものかどうかを確認し、ご利用者の受け入れ時にコピーをとり、その説明書をもとにショートステイ担当の職員と看護師が確認し配薬を行うようにいたします。また内服する時間別（朝、昼、夕、就）で袋を用意し、事前にご家族に日付のみを記載していただくことで、より内服する薬の確認漏れを防ぐことにします。		

高齢者関係事業 22件（うち公表可11件）

施設名	さいわいデイ・ケアセンター	是正日	令和4年9月6日
件名	他ご利用者の連絡ノート（A5用紙1枚）が入っていたことについて		
ご意見/ご要望の内容	連絡ケースの中に他ご利用者の連絡ノートが入っていた。確認してもらいたい。		
対応内容	当日のデイ・ケアセンターでの様子について記載した連絡ノートを連絡ケースに入れる作業で、A様（当該ご利用者）とB様は前後でケースをセットしておりました。順番に連絡ケースにノートを入れておりましたが、A様のノートをケースに入れ、次のB様のケースに入れる際にノートが見当たらず、印刷し忘れたと思い再度印刷して、B様のケースに入れました。最終のチェック時もノートが重なって入っていることは思いもせず、気付くことができませんでした。連絡ケースに入れる際には、前後で連絡ノートが重なっていないか、印刷した際に当日のご利用者人数と印刷枚数が合っているか確認することを徹底していきます。		

地域福祉関係事業 32件（うち公表可19件）

施設名	天竜厚生会介護福祉機器センター	是正日	令和4年10月17日
件名	車いすの取扱いに係る不適切な言い方について		
ご意見/ご要望の内容	ブレーキが壊れる原因として、前回対応してくれた職員から、使い方が悪いと言われた。とても不愉快なため、対応を改めてほしい。		
対応内容	受付者より謝罪し、職員へ事実確認を行った上で指導する旨を、申立者へお伝えしました。職員へは自身の業務姿勢を客観的に振り返ることや、状況等に応じた言動に気をつけるよう指導し、職員全体に注意を促しました。		

子育て関係事業 10件（うち公表可6件）

施設名	子育てセンターひだまり	是正日	令和4年9月7日
件名	園バスの事故を受けた園の対応について		
ご意見/ご要望の内容	牧之原市の幼稚園における通園バスの事故を受け、園での対応を知りたい。確認はされていると思うが、おたよりやメールで具体的な確認方法を知らせてほしい。		
対応内容	電話を受け、園としてお知らせをしていく方向で検討しているが対応が遅くなってしまったことを謝罪のうえ、通園バスの降車時に行っている職員の対応について口頭でお伝えしました。また、翌日、バス降車後の園児の降車確認と登園時の受け入れ方法について保護者宛にメールの発信と手紙の配布を行いました。また、メール発信後、電話にて申立者にご意見へのお礼とメールでの発信内容がご意見への回答となっているかの確認を行い、ご了承いただきました。		

受け付けた苦情等は、記載した事例の他にも、以下の天竜厚生会ホームページに掲載しております。
★URL：<https://www.tenryu-kohseikai.or.jp/koukai/complaints/list/>



【お問い合わせ】
監査指導部 監査指導課
TEL:053-583-1424

善意の皆さま

ご 寄 付

ありがとうございます

◎ご厚意に沿うべく、大切に活用
させていただきます。

- 浜名
[10月]
大久保 文二様
- さいわいデイ・ケアセンター
[10月]
杉原 邦彦様
- さやの家
[10月]
吉政 梅子様
- 天竜ワークキャンパス
[11月]
(株)森修焼 谷口 修様

ご 寄 贈

ありがとうございます

◎ご厚意に沿うべく、大切に活用
させていただきます。

- さいわい
[10月]
杉田 孝史様
- しんばらの家
[10月]
IGLESIA NI CRISTO様
- 美浜
[10月]
浜北商工会女性部様
株式会社林工組様
- 子育てセンターきぶね
[11月]
みをつくし太鼓 鈴木 俊文様

ボ ラ ン テ ィ ア

◎貴重なお時間を頂き
ありがとうございました。

共通

静岡県立浜北西高等学校様

入所支援課

- 浜名
野口 めぐみ様
老川 裕美様
岡村 哲司様
- 翠松苑
大野 博志様
赤佐6区花の会様
戸田 さかゑ様
長崎 邦子様
- しんばらの家
有谷 まり子様
- 天竜厚生会城北の家
吉田 たい子様
柴田 篤人様
- さやの家
掛川市赤十字奉仕団様
- しらいと
青山 秀子様
笠井 喜美子様
佐野 孔彦様
桐部 敬子様

通所支援課

- くまみデイサービスセンター
いちご畑様
熊幼稚園様
- 天竜厚生会浜松デイサービスセンター
おとわ会様
- しらいとデイサービスセンター
鈴木 清巳様

地域福祉課

- 地域福祉課
静岡県立天竜高等学校 ボランティア部様

子育て支援課

- 子育てセンターすぎのこ
お話の会様
柳澤 孝好様
若尾 加代子様
小倉 啓子様

小出 喜道様
小出 静子様

●子育てセンターやまびこ

島 全良様
お話の会様
小倉 啓子様
酒井 まち子様
黒川 泰様

●子育てセンターこまつ

北嶋 史雄様

●子育てセンターきぶね

サマーショートボランティア様
速水 みよ様
西村 晴子様

●子育てセンターしばもと

鶴田 則子様
市川 良子様
河合 俊美様
松浦 信子様
大久保 利枝様
渡瀬 和子様
森島 倫生様
大谷 優様
神谷 裕香様
穴戸 恵子様
鈴木 テル子様
太田 喜久子様
森 美奈子様
折金 早苗様
松本 侑里様
中谷 亜沙実様
村山 千早佳様

●子育てセンターしんぱら

折金 早苗様
田坂 満恵様
竹内 博之様
足立 香代様
ひらまつファーム様

●子育てセンターなかぜ

渥美 京子様
渡瀬 和子様

●子育てセンターかきのみ

JAとぴあ浜松 中瀬支店様
太田 礼子様
大城 正利様
廣瀬 一秀様
匂坂 友巳様
内山 啓子様

●子育てセンターみゅうのおか

おはなしの会様

●子育てセンターさやのもり

サマーショートボランティア様

おはなしのたね掛川様
梅田 昭好様
掛西学園ボランティア様

●子育てセンターひだまり

園児保護者様
鈴木 金雄様
サマーショートボランティア様
落合 賢次様
南郷地区東親和会様
南郷地区西親和会様
櫻井 節子様

●子育てセンターとものもり

サマーショートボランティア様
おはなしのたね掛川様
中村 一雄様
平尾 紘様
掛西学園ボランティア様
井口 廣之様

●子育てセンターみなみしま

鈴木 美帆様

●子育てセンターとみがおか

馬淵 富美子様
高木 ひろ子様
えほんを楽しむ会様
井口 君夫様

●子育てセンターにじいろ

佐野 夢果様
池島 麻三子様
矢五田 萌加様
山本 加代子様
野田 麗様
鈴木 浩子様
平松 久美子様

●すずかけっこ保育園

おはなしのたね掛川様
後藤 富位様
鈴木 由郎様

●なぎさ保育園

静岡県子ども読書アドバイザー 青島 智深様
NPO DIGtag 佐々木 善之様

●やまびこ児童クラブ

島 全良様

●天竜厚生会ちやるか

岡本 和夫様

●天竜厚生会いっお

岡本 和夫様

●天竜病院ひまわり保育園

坂口 公司様
大隅 共子様
河村 麻梨子様



第47回 厚生会まつり開催！！

感染症に留意し、ご利用者と職員のための開催となりました。

地域中高生の演奏や芸能人の歌謡ショー、模擬店での各種ゲームと軽食を楽しんでいただきました！！

次年度は、ご家族や地域の方を招待できるように、社会情勢をみながら開催規模を検討していきます。



社会福祉法人天竜厚生会 第12回実践発表会動画公開予定！！

すべての人に健康と福祉を

2022年度末
YouTube
公開予定！

今回取り上げた「健康」については、新型コロナウイルス感染症の蔓延やSDGsの目標になるなど、近年特に「健康」について意識をする機会が増えてきています。その「健康」と「福祉」について天竜厚生会の取り組みを紹介します！

社会福祉法人 天竜厚生会 福祉サービス課 TEL：053-583-1123

